

I r i s

トピックス

- Road to Doctor P 2
- 医師として大切にしていること P 3

協立総合病院研修医 1 年目のみなさん



医師からの メッセージ

協立総合病院 長谷川 綾平



Iris (高校生通信) を読まれているみなさん、こんにちは。協立総合病院で消化器内科医をしている長谷川です。医師になってもう20年近くの月日が流れてしまいましたが、まだまだ満足できる仕事ができなさに不甲斐なさを感じる一方、振り返ってみるとやっぱり医師になって良かったなと充実した日々を送っています。自分は中学時代に何となく医師になることへの憧れを抱きながら高校に進学し、2年生の進路決定の時、「医学部に行こう!」と目指すようになりました。病に苦しむ人を助けたい、役に立つ仕事をしたいとかそんな高い志を持っていたわけではなく、せっかく大学に行くなら勉強したことが職業に直結する学部に行きたいという実務的な思いで医師の道を目指していたように思います。その後、医学部に合格するまでは長い期間の浪人生活を乗り越えて頑張ってきたのに、入学してか

らの大学生生活の初期はアルバイトばかりして真面目に勉強に取り組んでいなかったように思います。そんな折、大学3年生の時に初めて愛知民医連に加盟している名南病院へ実習に行った時、患者さんの問診や診察、オペ室での介助など貴重な経験をさせてもらったことがきっかけで、自分の中での医学生としての自覚・意識が変わってきました。そしてそのまま自然と愛知民医連の奨学金を借り、全国の医学生との学習や交流する企画へ参加し多くの医学生と出会い、学びを共有する機会に恵まれ、今いる医療の道に進んでいくことができました。

これから医学部を目指しているみなさんは、大きな目標に満ち溢れている反面、将来への不安も少なからず感じていることと思います。悩むことは人生において大事なことです。それ以上に今ある目の前のこと、それは勉強だけでなく部活動や友人・家族とのふれあいなども含めて、きっと今でしかできないことだと思うのでぜひ前向きに取り組んでほしいと思います。いつの日か、みなさんと一緒に医療活動ができることを楽しみにしています。

Road to Doctor



総合病院南生協病院 初期研修医2年目 伊藤 裕一郎さん

Q1 医師を志したきっかけは？

医師を目指した1番のきっかけは、夏川草介の「神様のカルテ」という本を読んだことです。自分の通っていた学校では、ことあるごとに自分が将来どうなりたいのかを考えさせられました。ですが、どうしてもこれというやりたいことが見つからず、気づいたら受験生になっていました。そんな中、ふと勉強の合間の気分転換に手に取った本が「神様のカルテ」でした。読み終わると、今まで味わったことのないような幸福な気持ちでいっぱいになりました。医師である主人公が、本気で悩み、考え、患者さんと向き合っていく姿。将来こんな人になりたい、そう考えて医師を目指しました。

Q2 受験時代に辛かったこと、どうやってモチベーションを保ったのか

辛いと感じるまでもなく、心を無にして勉強していたと振り返ってみて思います。

高校3年生の8月部活を引退し、最初は勉強する気が起こらないこともありましたが、9月からは睡眠6時間と食事、風呂の時間以外は全部勉強に使っていました。

モチベーションは大学に入ったら勉強は終わって楽しいことが待っていると信じていたことです。仕事や将来とかまではあまりイメージできなかったので、大学で何したいかをイメージしていました。あとは勉強すればするほどちゃんと問題が解けるようになり、点数に現れるところが好きでした。点数に伸び悩んだ時期もありましたが、それでもできることが増えていと思うと勉強を頑張れました。部活と並列で勉強を続けていたことも良かったです。勉強でうまくいかない時は部活に没頭すれば点数に伸び悩んでいることも忘れることができ、そのまま少しずつでも毎日勉強しているうちに点数が伸びる時期が来て、また勉強頑張れるようになりました。

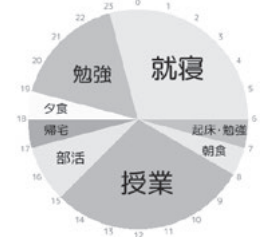
Q3 おすすめの勉強法(場所、時間、教科ごと、その他具体的な学習方法)

1日中勉強している時は、2-3時間おきに場所や科目を変えて気分転換しながら勉強していました。あとは手帳に1日で何をどれだけやるか書いて、できたら寝る前にチェックを入れて寝ていました。しっ

かりと予定を決めてそれができたら達成感もあるし自己肯定感も上がります。予定表は、1日・1週間・当月・受験までに分けて、週に1回くらい調整日を作るくらいゆとりを持って予定を立てました。勉強時間は、部活やっている時は夜2-3時間。高校3年になってからは朝学校前1時間と夜4時間。部活を引退してからは、授業中以外はずっと受験勉強していて1日7-10時間くらい、土日は15時間くらい勉強していました。

自分は塾にはいかないで、基本となる参考書を科目ごとに3周くらいやり、あとは模試とか問題集とかで解いた問題で間違えたときは徹底的に復習して応用問題の練習をして、受験校の赤本を10月くらいから始めました。

勉強方法は人それぞれだから他人の勉強法は参考程度で自分に合った勉強法を選ぶといいと思います。



Q4 大学で楽しかったこと、大変だったこと

自分は高校まで部活と勉強しかしてきませんでした。大学は、自分で勉強も部活も遊びもバイトも自由に選ぶことができます。医学の勉強はしなければいけないといけませんが、どこまで勉強するか選択できます。また、医学の勉強以外にも社会的な問題に関して勉強したり、部活やバイトががんばったり、キャンプや遊園地で遊んだり。今までにないくらい自由に自分のやりたいことを選択できて人生で一番楽しい6年でした。

ただ、やっぱり医師になるには勉強は必須で、国家試験もあるのでそれに受かるようには勉強しなければなりません。高校までは学校の先生や塾の先生が勉強の仕方を教えてくれますが、大学では教えてくれる先生が少ないことが多いです。自由に時間を使える分、自分で自分を律しなければいけない部分があり、勉強の配分を間違えると医師になれなくなってしまうからそこが大変だと思います。

医学の勉強に力を入れれば入れるだけ、実際に働き出したらそれを実践できる機会が待っているといます。

(次号へ続く)

医師として大切にしていること

『至誠にして動かざる者 未だ之れ有らざるなり』

千秋病院 外科
長谷川 誠



一宮市にある千秋病院で外科をしています。医師になって35年目になります。2022年4月に千秋病院に赴任しました。

上記の言葉は、恥ずかしながら最近知った言葉です。『侍JAPAN』の栗山監督が好きな言葉だそうです。中国戦国時代の儒学者の孟子の言葉です。「誠を尽くせば、人は必ず心を動かされる。誠を尽くして動かしえないものは、この世には存在しない。」という意味です。私心が入り込んだ瞬間に、人は誠を尽くせなくなります。医師や病院にとって都合がいいような理由を優先したら、患者の感情や都合を脇へ置いてしまうことになります。病気を治すことが医師の仕事ですが、肝心の患者本人の気持ちを大切にしないといけない。ただの自己満足になり、患者にとって不利益な状態を作ってしまうこともあります。千秋病院は急性期ももちろんやっていますが、療養型の病棟もあり近隣の大きな病院から急性期の治療が終わった患者が送られてきます。以前勤めていた南生協病院は急性期の治療が中心だったので、転職したての頃はギャップがあったのですが、今まで普通にやっていたことが本当に正解だったのか考えさせられる事があります。

医師という職業は素晴らしいと思います。でも医師になるまでは大変な苦勞があり、更に医師になってからはもっともって大変になります。だって人の命を預かるのですから!生半可な気持ちではできません。私が医師になろうとしたきっかけは、ブラックジャックで、今でも私のバイブルです。今読んでも考えさせられますもんね。私が学生の頃は対照的な性格としてブラックジャックと赤ひげはよく比較されていましたが、患者に対する想いは同じと思っています。これからよく、「患者に寄り添った医療」という言葉を耳にしたいと思います。簡単なことですが、無茶苦茶奥が深い言葉です。やれる医師は何人いるのでしょうか?かく言う自分も果たして・・・。

私は、きっと皆さんのご両親よりも歳を食っていると思います(笑)。その分ここで書ききれないこともたくさんあります。もし気になったら、ぜひ一度千秋病院まで遊びに来てください。お待ちしております。

注) 赤ひげ…山本周五郎の『赤ひげ診療譚』(新潮社ほか)の登場人物。江戸時代後期の享保の改革で徳川幕府が設立した小石川養生所が舞台。赤ひげは決して社会に対する怒りを忘れない老医師で、そこに集まった貧しく病む者を懸命に治療する医師。

このドクター漫画が
おススメ!!

医師/棚橋 千里
総合病院南生協病院
病理医
名古屋市大卒



Dr.Eggs

三田 紀房 集英社

主人公は山形県の国立大学医学部に入学した円(まだか)ちもり君。医学に興味はないけれど成績が良かったことから、担任の先生に“やりたい職業がないなら、食いはぐれのない医学部に行け”と言われて受験しました。大学の入学式では、指導教官の古堂先生が、なんと4億円の札束をカートで運んできます。そして、「医師一人を養成するのに4億円かかる。それは税金から支払われている」と言うのです。そしてこう続けます。「高倍率を勝ち抜いてきたのだから、それくらいメリットがあっても当然だと考えていないか?そんな腐った根性の人間は医師になる資格がない。さっさと退学しろ。」「医師となり国民に奉仕し社会に貢献し、利子をつけて国に返すのだ。この4億円を生涯忘れるな。」と。

入学式後、町で偶然古堂先生に会った円に、「ちょっと付き合え。」と猫師がとらえた熊の解体を命じます。先生は円に医師になる覚悟がないことを見抜いており、今ここで覚悟を決めろというのです。でも円は言います。「医

師になる覚悟はまだありません。でも覚悟を決めるために、この熊を解体するなんて、熊に悪いです。」そんな円に古堂先生は……。

医学の道を進もうと思えるようになった円ですが、今度は高校の先輩からサークルの誘いがあり、飲み会に嫌々ながら参加することになります。そこは民謡同好会でした。入会を断る円でしたが、先輩は「民謡同好会には入らなくても、ぜったいに何かのサークルに所属しろ。医学部の授業やテストはとても大変で、一人で抱えていては乗り越えられない。先輩や仲間と支えあって勉強していくことが重要だ。」と言うのです。私もテスト前には、24時間営業のファミレスで夜中ずっと友達と勉強した事をなつかしく思い出しました。(後日、長時間の勉強はお断りします、と張り紙されましたが……)

ドクター漫画は多いけれど、医学生が主役の漫画は数少ないのでこの漫画は貴重です。医師になる心得などが満載なので、とてもお勧めです!

参加費
無料

3年ぶりの開催!!

愛知民医連

2023年 夏

1日医師体験

期間

7.24～8.31

参加対象：医学部医学科を目指す高校生・受験生

開催場所：北病院・名南病院・千秋病院

この1日が将来を決めた—
そんな経験になることを願って。

お申込みはQRコードから

愛知民医連

検索



奨学生 になって、一緒に医療のこと
社会のこと学びませんか?!

愛知民医連奨学金制度のご案内

対象：医学部医学科生（医師をめざす方）

将来、地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療を私たち
民医連とともにめざし、担っていく意思のある医学生さんを対
象に愛知民医連は奨学金制度を準備しております。

奨学生になると

医学生同士の全国的な交流や学びの場を持つことができます。

充実した学生生活のために、
愛知民医連奨学金制度をお勧めします。

ご案内

Irisの
感想を送って

図書カードを
もらっちゃおう♪

Iris Vol.38 夏号、いかがでしたでしょうか？

よりよい紙面作成のため、感想をお寄せください。

感想文を送ってくださった方に、図書カードをお送りいたします。

（応募者多数の場合は抽選になります。）締め切り：2023年8月31日

応募は右に記載の
QRコードからすぐにできます。



地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療をめざして
愛知県民主医療機関連合会（愛知民医連）
協立総合病院・総合病院南生協病院・北病院・名南病院・千秋病院

事務局：〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館 本館3F

TEL：0120-193-666（フリーダイヤル）

052-883-6997（代表）

FAX：052-889-2112

Email：aichiminiren@aichiminiren.jp

URL：http://aichiminiren.jp/



一日医師体験・奨学金のお問い合わせ・お申込みは 医学生担当まで